

住み慣れた地域で 暮らし続けるために

障害者総合支援法『重度訪問介護サービス』の利用

重度訪問介護とは？

重度訪問介護は障害者総合支援法（正式名称：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）で定められている障害福祉サービスの一つ。

※介護保険法を根拠とする居宅サービスの「訪問介護」とは別のサービス。

常に介護が必要な重度の肢体不自由者や、重度の行動障害のある知的障がい者、精神障害者に対し、**身体介護・家事援助・移動支援などを総合的に提供するサービス**です。

利用できる対象者

身体障害

知的障害

精神障害

難病患者等



障害支援区分が【区分4】以上であり、且つ次のいずれかに該当する者

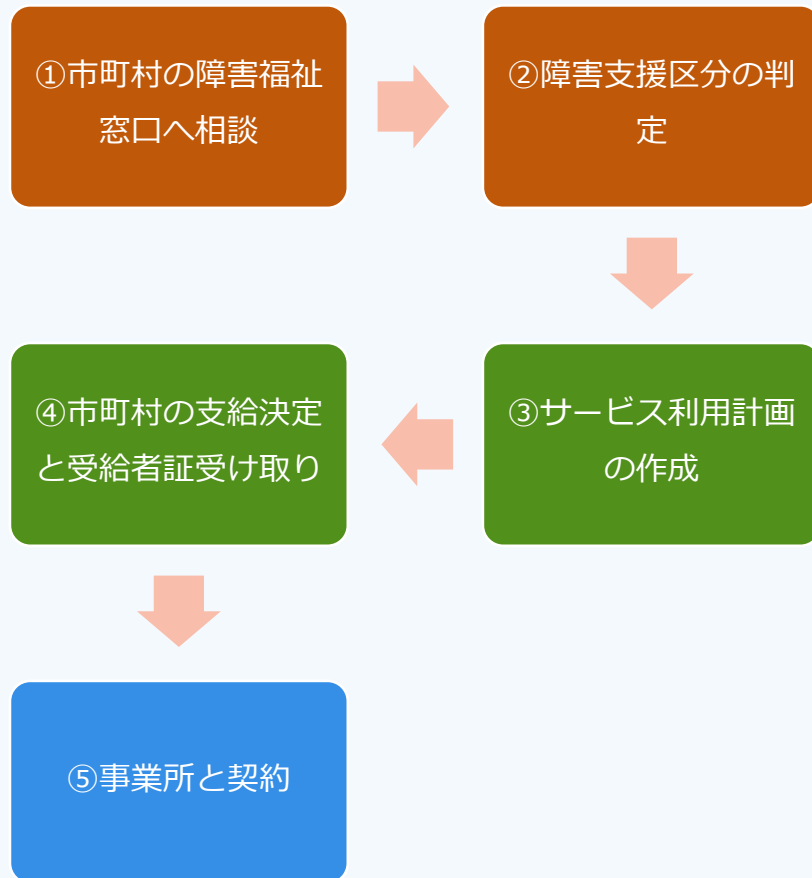
1) 次のいずれにも該当する者

▷二肢以上に麻痺等があること

▷障害支援区分の認定調査項目のうち「歩行」「移乗」「排尿」「排便」のいずれも「支援が不要」以外と認定されていること

2) 障害支援区分の認定調査項目のうち行動関連項目等（12項目）の合計点数が10点以上である者

サービス利用開始までの流れ



①市町村の障害福祉窓口へ相談

②障害支援区分の判定

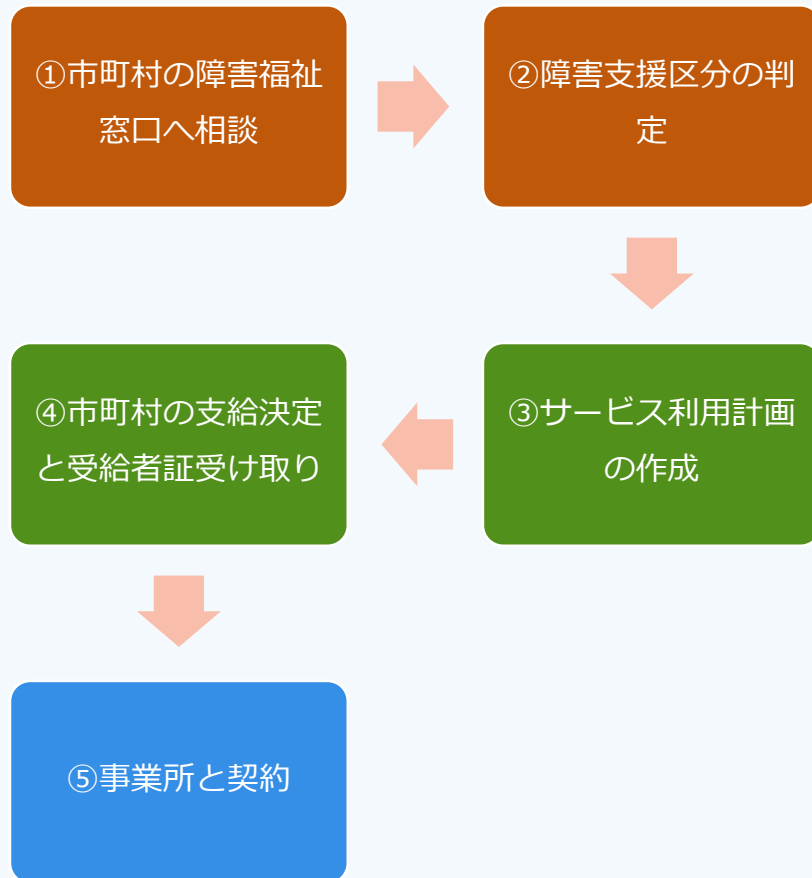
▷認定調査員による訪問調査の結果と医師の意見書に基づき**一次判定**

▷認定調査員による特記事項、医師の意見書に基づき**二次判定**を経て

市町村による
障害支援判定審査会にて認定

※自治体にもよるが、月1回程度の開催が多い

サービス利用開始までの流れ



③サービス等利用計画の作成

▷支給決定を行うために
サービス利用の意向を福祉課窓口で伝えます

お住まいの市町村の障害福祉課窓口にて、計画相談支援の利用申請を行うことで
指定特定相談支援事業所をご紹介します

基本基準支給量：区分6で172時間

④市町村の支給決定と受給者証受け取り

ここまで約1ヶ月半～2ヶ月ほどかかります

⑤訪問介護事業所と契約

個別支援計画を相談員・ご家族と相談、作成

準備はいつから？



ご自宅の準備、お部屋のリフォーム等（利用者）

▷福祉用具の選定、導入 

例) 天井走行式リフト・据置式リフトなど

選ばれる福祉用具によって現場調査、取付工事含め 納期までの期間は異なる

※住宅設備改善費（屋内移動設備）などの助成アリ（事前相談・申請・支給決定必要）



決定支給量（時間数）を基に、サービス等利用計画見直し（相談員）

▷サービス等利用計画に基づき個別支援計画作成（事業所）

本人や家族のニーズがきちんと反映されているか？

▷ヘルパーの確保、顔合わせ

重度訪問介護サービス内容

▷身体介護（身体に直接触れて行う介護）

入浴（洗顔・洗髪・陰部・足部などの部分浴も可）、排泄、清拭、更衣、体位変換、食事の介助など

▷家事全般（日常生活の家事を代行）

利用者が生活するスペースの清掃、洗濯、買い物、調理などのサポート

※あくまでも本人に対して行われる援助である

▷移動介護

お出かけの際の同行

身体介護

家事援助

移動介護

医療的ケア

見守り支援

入院時支援

重度訪問介護サービス内容

▷医療的ケア

たん吸引、経管栄養などの医療的ケア

▷見守り支援

利用者さんの希望スタイルに合わせ、支援が不要な時間は「見守り」としてすぐに対応できる場所で待機

▷入院時支援（一定条件アリ）

障害支援区分6であり、且つ入院前から重度訪問介護を利用している場合に利用可能

本人の意思を代わりに医療関係者に伝える為や、医療関係者へ介護方法の伝達を行う目的となる

※市区町村によって異なるルールもあるので要確認

身体介護

家事援助

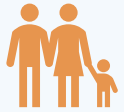
移動介護

医療的ケア

見守り支援

入院時支援

重度訪問介護を利用するメリット



ご家族の介護に対する負担の軽減

- ▷ 24時間連続滞在型ヘルパー制度
- ▷ 毎日介護にあてている時間をご自身の時間として使うことができる

介護による精神的・肉体的な疲れを取り除くことができ、
介護疲れによるトラブルを回避



医療的ケアにも適宜対応、包括的支援も

- ▷ 夜間も安心して睡眠をとることができる



経済的負担の軽減

- ▷ 公的制度で自己負担なしの0円 ~ 月37,200円

※所得に応じて設定される



重度訪問介護を利用するデメリット



🏠 他人（ヘルパー）を家に招き入れる不安

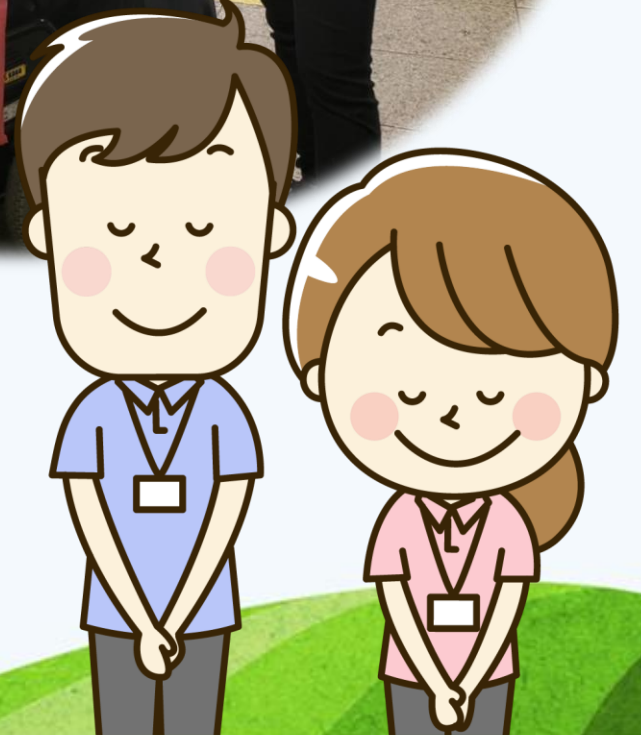
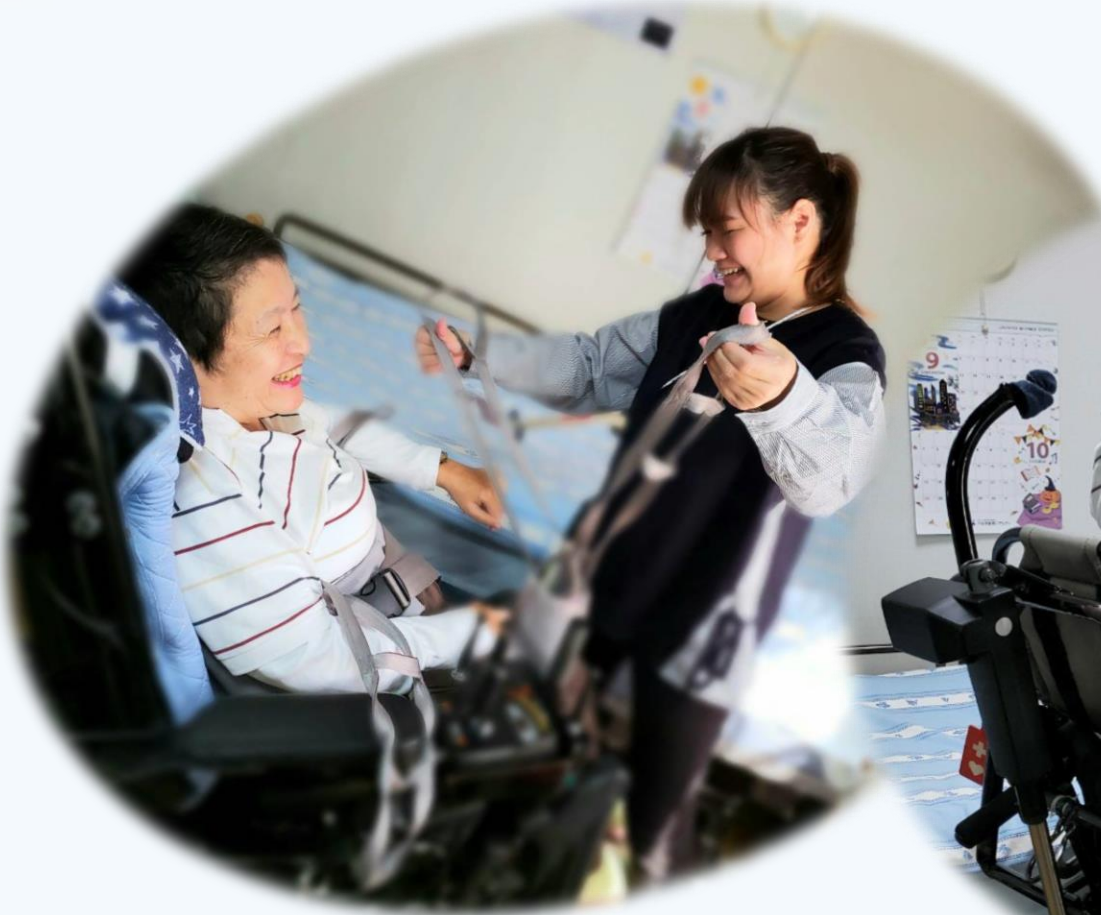
▷ どんな人が来るの？性別は？

▷ なんだか気を遣ってしまう…

▷ 家の中を勝手にいじられたりしない？

etc ...

重度訪問介護のひとコマ



“全ての必要な人に必要なケアを”

どんな障害を持っていても

どんな病気を抱えていても

住み慣れた地域でいつまでも

自分らしく暮らしたい

私たちはそんな気持ちを応援しています

ありがとうございました

